

平成25年度 第35回食品産業優良企業等表彰 環境部門でイトーヨーカドーが 農林水産大臣賞受賞

株式会社イトーヨーカ堂(東京都千代田区、代表取締役社長<COO>:亀井 淳)は、このたび、一般財団法人食品産業センターおよび公益財団法人食品流通構造改善促進機構主催(後援:農林水産省)「平成25年度 第35回食品産業優良企業等表彰」環境部門にて、農林水産大臣賞を受賞いたしました。このたびの当社の受賞は、環境部門<食品リサイクル推進タイプ>環境循環型農業『セブンファーム』の取り組みとなります。

当社は、これからも『セブンファーム』の“日本の農業のお手伝い”という基本理念のもと、各地域の生産者等の皆様とともにさらに連携を強化し、持続可能な地域農業への貢献のために、積極的に取り組みを推進してまいります。

記

【受賞の概要】

■ 環境部門<食品リサイクル推進タイプ> 環境循環型農業『セブンファーム』

環境に配慮した循環型農業を実践するために、2008年より農業生産法人『セブンファーム』を設立。イトーヨーカドーの各店舗より排出される食品残渣の堆肥を使用して作物を栽培し、店舗で販売する循環リサイクルのループを完結。設立した自営農場は、2014年2月設立の「銚子」を加えて全国に10箇所。

各地域のセブンファームは、地域生産者と共同出資する形で設立され、運営を実践。地域密着のコミュニケーションにより、通常では流通しない規格外品等も積極的に販売。畑での廃棄も減り、生産者および店舗のお客様とも連携して推進。

以上

【ご参考】これまでのセブンファームの取り組み

1. セブンファームの基本理念

- ① 農業のお手伝いをしたい ② リサイクルを進めていきたい

2. セブンファームのこれまでの事業推移

当社は 2008 年 8 月、企業の社会的責任（CSR）活動の一環として、食品リサイクルの向上と地域農業の活性化を目的に、セブン&アイ・ホールディングス初となる農業生産法人「セブンファーム富里」（千葉県富里市）を設立し、「環境循環型農業」を小売業で初めて開始。その後、農場面積や栽培品目、収穫量等を拡大し、設立 2 年目以降に事業の黒字化を達成。

また、全国各地における農業法人の新規設立や事業拡大、食品リサイクル網の整備等を一元管理する中核会社「株式会社セブンファーム」を 2010 年 5 月に立ち上げ、全国 10ヶ所への事業拡大を決定。

中核会社の傘下法人として、現在までに富里をはじめ、
 「セブンファームつくば」（茨城県筑西市、2010 年 9 月設立、* 事業会社）
 「同 三浦」（神奈川県横須賀市、2010 年 10 月設立、* 事業会社）
 「同 深谷」（埼玉県深谷市、2010 年 11 月設立、* 農業生産法人）
 「同 北海道」（北海道東上川郡、2012 年 1 月設立、* 事業会社）
 「同 東海」（愛知県碧南市、2012 年 5 月設立、事業会社）
 「同 東京」（東京都立川市、2012 年 10 月設立、事業会社）
 「同 新潟」（新潟県新潟市、2013 年 5 月設立、事業会社）
 「同 湘南」（神奈川県茅ヶ崎市、2013 年 7 月設立、事業会社）
 「同 銚子」（千葉県銚子市、2014 年 2 月設立、事業会社）
 の 10ヶ所で「環境循環型農業」を展開。



農業従事者の高齢化や耕作放棄地の増加、農地法の改正等、日本の農業を取り巻く環境は大きな転換期に突入。セブンファームは“日本の農業のお手伝い”という基本理念のもと、地域ごとに最適な法人形態（農業生産法人もしくは事業会社）を設立し、持続可能な地域農業への貢献を推進継続。

3. その他のセブンファーム主な取り組み

規格外品等の販売と全量買い付け

今まで商品として販売されなかったものも、お客様にきちんと理由をご説明して、素材および加工品等の形態で工夫して全量買い付けへ取り組み強化

地域との交流と食育への取り組み

周辺地域の小学生やイトーヨーカドーのお客様等をセブンファームにご招待。種まき・収穫体験ツアーの実施により、セブンファームを活用した交流・食育を推進

「JGAP 認証」の取得と安全・安心の取り組み推進

2009 年 11 月に「JGAP 認証」を富里・つくば・北海道の各拠点・農場で取得。農業現場に安全・安心および、生産・経営システムの継続的な改善を導入・推進

※『2012 年 GAP 普及大賞』を受賞 「セブンファーム」「顔が見える野菜。果物。」にて



<セブンファーム拠点概要>